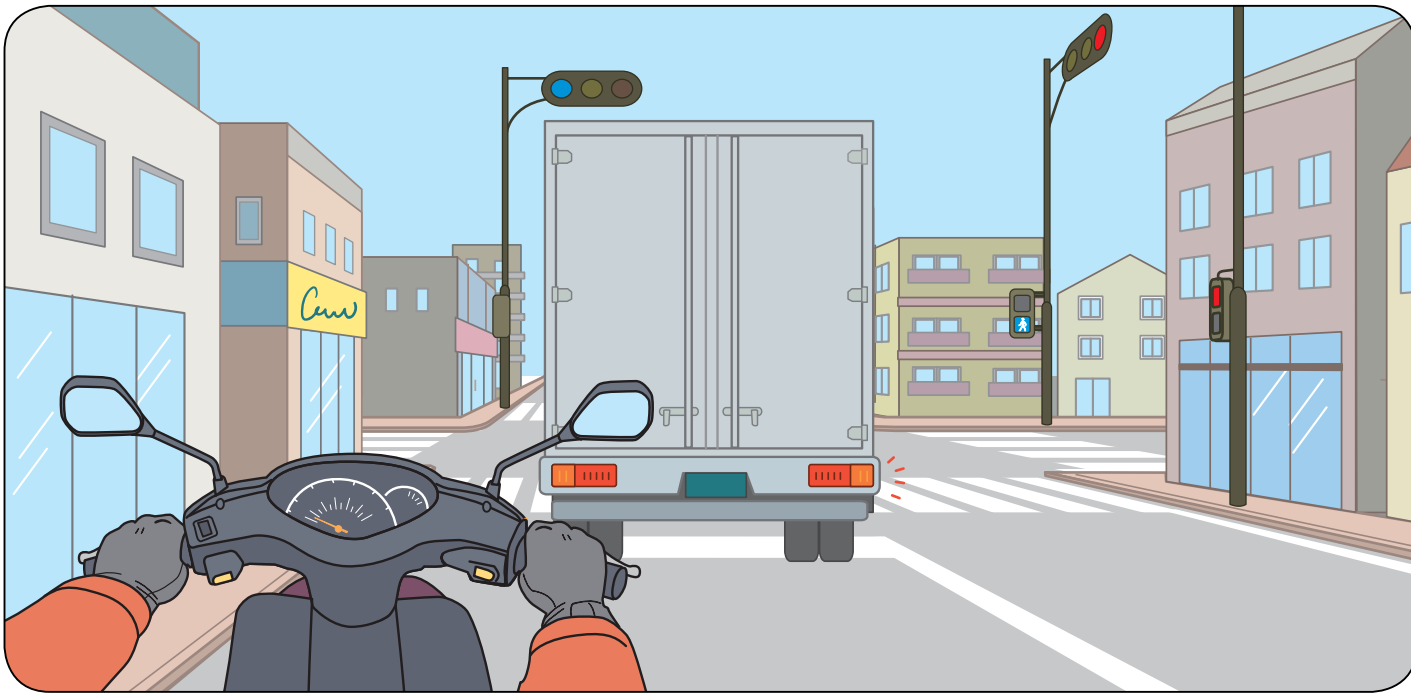


危険予測トレーニング (KYT) — 危険感受性を育てる

第55回 先行右折車がいる時 (二輪車編)



交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は二輪車のライダーに、先行右折車がいる時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。また PDF ファイルもダウンロード (無料) できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業 (株) 安全運転普及本部
TEL: 03(5412) 1736 E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業 (株)

あなたは青信号の交差点にさしかかっています。前方のトラックは、交差点を右折するようです。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

Q1

平成 27 年の二輪車 (自動二輪・原付) 乗車中の交通事故負傷者数を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ① 15～24 歳 ② 35～44 歳
③ 65 歳以上

Q2

平成 27 年の二輪車乗車中の交通事故件数 (第 1 当事者) を法令違反別にみると、最も多い法令違反は次のうちどれでしょう？

- ① 操作不適 ② 動静不注視※
③ 安全不確認

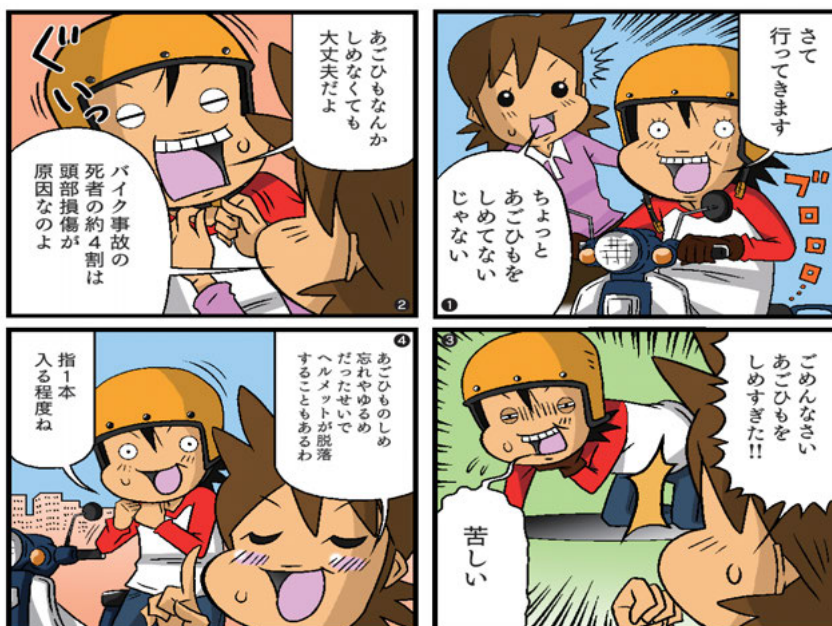
※動静不注視=相手の存在を発見していたが、危険はないと判断し、その動静の注視を怠ったこと

Q3

平成 27 年の二輪車乗車中の交通事故死者数 677 人のうち 662 人はヘルメットを着用していましたが、このうち事故時にヘルメットが脱落していた割合は何%でしょう？

- ① 約 10%
② 約 20%
③ 約 30%

※「解答」は 8 面下「解説」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>



漫画:塚本ケース

SJ クイズ ?

© 本田技研工業 (株)

指導者ファイル

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。

36

熊本県・宇城地区交通安全協会交通安全教育講習員の皆さん

船津千鶴さん (左)、山下咲子さん (右)

「交通事故に遭わない、起こさない」と感じてもらえる講習をめざす

熊本県では、県内 7 地区がそれぞれ独自の交通安全教育を展開している。宇城地区交通安全協会は、県中央部に位置する宇城市、宇土市、美里町、城南町を担当。交通安全教育講習員の船津千鶴さんと山下咲子さんが、この 2 市 2 町の幼児や小中学生、高齢者を中心に年間で 300 回以上の講習を実施している。

二人は講習で伝えたい内容を図案化し、教材を手づくりで製作。耳だけでなく、目で見て受講者の心に響くように工夫している。その 1 つが講習冒頭の自己紹介の時の紙 1 枚を使った簡単なマジックだ。「幼児から高齢者まで、どの世代にも好評で、受講者の関心を自分たちに引きつけるのに効果的です」と山下さんは話す。

高齢者向けの講習では、安全運転に必要な 8 つのポイント (右記参照) を説



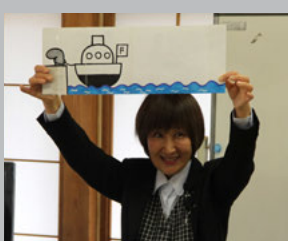
明した後に、各ポイントの頭にくるひらがなを組み合わせたら、どのようなフレーズになるか考えさせる脳トレーニングの要素を取り入れている。また、高齢者に馴染み深い歌謡曲を交通安全にちなんだ替え歌にし、腹話術の中に取り入れて歌っている。最後は、腹話術人形「あかいとまとちゃん」が受講者に挨拶して回るなど、一人ひとりとの触れ合いも大切にしている。「講習中は無表情な方でも、一対一になると笑顔になってくれます。自分のため、まわりのために交通事故に遭わない、起こさないと感じていただける講習をめざしています」と船津さんはいう。

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

● 高齢者向けの交通安全講習

簡単なマジックを盛り込んだ自己紹介。船津さんの自己紹介では、船が描かれたイラストを折りたたんで、もう一度開くと鶴が現れる。イラストの裏側には、船津さんのフルネームが書いてある



クルマを運転する高齢者も多いことから、夜間、対向車や前車がない時はハイビームの使用を呼びかけている



下記の 8 つのポイントを説明し、各ポイントの頭にくるひらがなを組み合わせたら、どのようなフレーズになるか考えてもらう

- 【安全運転 8 つのポイント】
- ・いつもしっかり安全確認
 - ・ついウっかりは事故直結
 - ・もしものときのシートベルト
 - ・のんたら乗らない 乗るなら飲まない
 - ・み込み右折は事故のもと
 - ・ちょっと不安と感じたら高齢運転者マーク
 - ・できるだけ運転ひかえて夜の道
 - ・もう少しと無理せず迷わず休憩を



反射材は配布するだけでなく、使い方も細かく指導。たすきタイプの反射材は片方の肩にかけるだけだと、洋服の素材などでは歩いているうちに肩からずれ落ちてしまうことがあるため、両肩にかかるように、たすき掛けで使うようにアドバイス

講習の最後に腹話術人形「あかいとまとちゃん」が高齢者一人ひとりと言葉をかわす